

平成 7 年 2 月 2 8 日

送
り
先

MB (北陸) システム営業課 御中	丸善 (北陸) 営業課 御中	陸支 営業企画部	陸支 公共ビルシステム部
七宝 システム事業部 御中	NES 情報システム課 御中	(富山) 電力部	(金沢) 半導体・電子デバイス部
JMC 営業課 御中	北菱 情報機器課 御中	FAシステム部	FAシステム部
エム・アイ・エス 御中	MCC (北陸支所) 御中	公共ビルシステム部	電子・情報通信部
陸支 (富山) コ課			



陸支コ課 情報

N o 2 7

内容

- ・ O A 化について 第二回
- ・ 情報誌トピックス — 情報誌は発行責任者保管
 - 日経コンピュータ 2月20日号
 - 日経エレクトロニクス 2月27日号
 - 日経パソコン 2月27日号
 - 日経バイト 3月号
 - LAN TIME 3月号
 - 月刊PC 3月号
 - ASCII 3月号
 - SUPER ASCII 3月号

ソフトウェアはSRCへ！
キャンペーンも随時実施中
詳しくはSRCニュースを

発行責任者

三菱電機株式会社 北陸支社
電子・情報通信部 コンピュータ課
稲崎義明

2. アメリカと日本におけるLAN

アメリカにおけるオフィスは、個々に独立したスペースを持つ構造が中心だそうです（実際は見たことありませんのでよく知りません）。筆記用具としてのタイプライタはごく一般的で、資料作成に主に用いられていました。タイプライタは欧米人にはごく身近にあるもので、アルファベットと数字、記号などその配置もおぼえやすくなっています。また、スペースが独立しているため、個々の意思の疎通はメールと呼ばれるメモで行っていたようです。そこへ登場したのがパソコンです。これまでタイプライタを使っていたわけですから、キーボードアレルギーがあるわけもなく、パソコンを筆記用具の代わりに使う事は極あたりまえの事であったようです（アメリカでもやっぱりよく使われているのはワープロソフトみたいですよ）。次に出て来たのはそれぞれのパソコン間をつなぐLANとなりますが、是もごくあたりまえの流れという事ができます。つまり、隣との意思の疎通を行うためのLANですから、主なLANの使用目的はメール（電子メール）という事になります。

それに対して日本ではどうでしょうか。日本におけるパソコンは一部のマニアの使うものでした。ゲームに使ったり、BASICでプログラムを作ったりするものでした。画面上は、アルファベットとカタカナ程度しか表示できませんでしたから、ワープロとして使用できるようになるのは、かな漢字変換ができるようになってからですからだいぶ後の事です。つまり、日本ではパソコンは事務用品にはなり得ていなかったのです。

日本ではまだ一部の人のものであったころに、アメリカではLANが使われる様になり、実用になった状態で日本はパソコンの流れとしてLANの導入をはじめたように思います。必要になって導入したアメリカと、アメリカで使われているという理由だけで導入しようとした日本では普及の形態が違うのはあたりまえという事がいえます。日本でメールの必要はまったく考えられていなかったとってよく、資源の共有化を目的として売り込んでいたのが初めの売り方でした。しかし、資源としてファイルやプリンタを共有化するほどパソコンがあるわけではなく、LANの必要性があまりなかったため、実際にはあまり普及しなかったように思います。この頃のようにパソコンが低価格化してはじめて、LANの必要性が出て来たようです。

LANは、日本で生まれたものでは有りません。パソコンを事務用機器として使用できる環境にならなければ、なかなか定着しないように思います。手書き文書しか作成しない、資料は手元に置いておきたい、自分の文書は他人に使わせたくないなど、日本人的な考え方もLAN普及の妨げになっています。文房具として使うパソコン、自由に使えるようパソコン、いろいろな情報を使える環境、このような状態になってこそLANは普及するものです。使わなければ、使えなければ、システムにはなりません。どのようにして（使えるものでなく）使うものにするかが、これからの普及の課題ではないかと考えます。

（次回へ）

(情報誌トピックス)

○経緯コンピュータ 2月20日号

特集 ソリューション市場へ走る

ソフトハウスやオフコンディナーが変身

→オープンシステム化の浸透により、これから求められるのはユーザが抱える問題を情報技術によって解決できる「ソリューション・インテグレータ」。これには最新の技術力と広範囲の業種・業務ノウハウなどが必要

動向 企業連携進める流通業界、情報共有で売り上げ拡大へ

→小売り、卸、メーカーが販売や在庫データを共有し、業務を連携させる動きが活発

NCインクビュー オフコンは2000年まで残る —内田洋行 久田社長

パソコンはまだ信頼性に問題

選択オープンシステム 並列処理機能を重視、実績で組み合わせしぼる—ファミリーマート

→処理性能と拡張性の両立をねらってUNIXサーバとOracle選択

NCセミナー 電子メールの利用を成功に導く②

電子メールシステムの違いを知る

○経緯エレクトロニクス 2月27日号

特集 デジタルビデオディスク

マルチメディア時代にむけた日本の賭け

→マルチメディア時代にむけて米国は情報スーパーハイウェイのもとビデオオンデマンド、日本はデジタルビデオディスク(DVD)に未来をかける
デジタルビデオディスクはソニーが中心のグループと東芝が中心のグループにわかれ仕様の統一がなされないまま発売されようとしている

1部 <市場への挑戦>

米国はネットワーク型映像サービス、日本はDVD開発へ

2部 <DVDの技術>

直径120mmに映画1本を詰め込む

記憶容量はCDの6倍~8倍

特集 ISSC095

1GビットDRAMやP6が顔見せ

→ISSC—LSI分野で最大の国際会議

インテルはPentiumの後継P6を発表

1部 <メモリLSI>

21世紀をにらんで、ギガビット時代に突入

2部 <論理LSI>

製品発表済みLSIが目立つ、低消費電力化やスキュー低減に工夫

3部 <アナログLSI>

無線と光ファイバ伝送に活気、拡大市場に向けアピール

○経路 2月13日号

特集 ギガバイト時代の安全対策

大容量化するデータをどう守る

→ハードディスクが1GBを越え、画面の解像度も高解像度となり、動画の取り扱いも一般化しつつある。

ギガバイトとなっても不注意でデータを破壊する危険性は同じ、そのための安全対策は

プロログ パソコンのデータは「壊れる」

第一部 [ハードウェア編]

バックアップに向く大容量記憶装置

3.5インチMOは「スーパーフロッピー」

読み書きが速いリムーバブルHD

低価格で身近になったQIC-80

HDDをバックアップ用に増設

◆バックアップしたデータが壊れたら

第二部 [ソフトウェア編]

データ保全の基本戦略

バックアップの作業は計画的かつ効率的に

ユーティリティソフトを使いこなそう

◆ウィルスの進入からデータを守れ

レポート 赤外線通信

IrDAって何？赤外線データ通信の実力

製品情報 スケジュール管理ソフト

新製品が相次ぎ登場、予定と連絡先の管理を効率化

○経路 3月号

特集 パソコンも間違える

→Pentiumに欠陥があることが大問題となっているが、これは確率が低いにもかかわらず、パソコンは間違わないというイメージがあるため、実際にはそれ以外にもいろいろな要素があり、十分に正しい答えをいっつも出すことができるわけではないと考えることもできる

落とし穴1 Pentium欠陥の詳細

演算精度向上策の新手法採用がミスを招く

落とし穴2 マイクロプロセッサの品質管理

バグや品質管理情報を画したがるプロセサメーカ

落とし穴3 10進演算

BCD(二進化十進)を扱えるソフトは少ない

改善の余地残す表計算

→コンピュータは二進数で数字を取り扱うため、簡単な計算でも誤差が発生することがある

- 落とし穴 4 命令セット
使いづらい、使われない x 8 6 の中途半端な B C D 命令
- 落とし穴 5 計算精度
計算のノウハウやソフト内部の情報が不足
- 落とし穴 6 メモリエラー
パリティをチェックするパソコンは減り始めている
- 特別レポート W i n d o w s 9 5 が要求するハードウェア仕様
→米 M i c r o s o f t 社は W i n d o w s 9 5 のハードウェアガイドラインを提示し、仕様を満たすとロゴマークが貼られる
- 解説 1 0 年目で変わる S C S I、シリアルの台頭始まる
→シリアルインターフェース (8 0 ~ 1 0 0 M B y t e / S e c) で H D D などを接続しようとする規格が、シリアル S C S I として S C S I - 3 に取り込まれる
- 解説 E I S A との混在環境で性能発揮できない P C I
→E I S A ボードと P C I ボードを混在して使用する場合、高速である P C I バスが低速の E I S A のボードに占有され、十分に性能が発揮できていない
E I S A のボードからのリクエストを少なくすれば (少ないボードを使えば) 性能低下はある程度防げる
- 解説 W i n d o w s 時代を生き抜く (連載 3 回)
W i n d o w s ネットワークの賢い構築法
→L A N を使えば W i n d o w s 自体とアプリケーション、及びデータを共有することによってディスク消費量の削減、そしてシステム保全性の向上を図ることができる

○L A N T I M E 3 月号

- 特集 無停止サーバをつくる
ダウンに強いネットワークの設計
→汎用機にあるダウンを回避する確固とした哲学を理解し、P C L A N の無停止運用の道を拓く
- PART1 汎用機との比較で検証する P C L A N の対障害機能
- PART2 サーバをダウンさせない二重化の工夫と保守の考え方
- INTEGRATION V B 対抗の W i n d o w s 開発ツール投入で
P C プラットフォームを攻略するオラクル
→D B のオラクルが開発した V B 対抗の「PowerObjects」は V B によく似た W i n d o w s 対応の B A S I C 言語
- 連載 W i n N T によるリエンジニアリング
W i n d o w s N T を使った小規模事例を考える
- PRODUCT モデム共有やリモートメンテナンスに便利な
非同期接続ソフト「N e t W a r e C o n n e c t 1 . 0 J」

連載 Visual BasicによるC/S業務アプリ開発手法
VB使用のメリットとデメリット

○週刊PC 3月号

特集 姿を見せはじめた待望の次世代OS

Windows 95始動

→Windows 95はハードウェア、ソフトウェアの導入が簡単になるよ
うな試みが含まれている。日本語ベータ1を元にその姿をみる

- ・Windows 95は何を目指しているか
- ・Windows 95に標準で付いてくる便利ソフトを試す
→WORDの機能限定版のワードパット
壁紙も直接作れるペイントブラシ
自動ダイヤルのできるカードファイル
通信のハイパーターミナル
ディスクチェックと修復
ドライブ圧縮ツール
多機能CDプレーヤ
4つのゲーム
- ・アプリケーションの登録、実行、印刷にみる多彩なアプローチ
- ・見て、確認してその場ですぐできる快適なファイル管理
- ・Windows 95では周辺機器の接続も簡単
- ・デスクトップの設定と配慮の行き届いた補助機能

特集 インターネットは個人で利用できるか

初めてのインターネットアクセス

BEST BUY 「パソコンの鉄人」ことBEST BUY

アクセラレータボード(98編)徹底比較

BENCHMARK対決95 SEGA SATURN vs PlayStation

○ASCII 3月号

特集 I これがデジタルビデオのすべてだ!

→Motion JPEGが取り扱えるボードの登場など、パソコン上で本
格的なデジタルビデオの作成編集が可能となった。編集テクニックから
キーとなる技術までを紹介

- ・ビデオキャプチャーボード最前線
- ・デジタルビデオはこうして編集する
- ・動画再生の最新動向

特集 II ワープロ666対決 前哨戦

→一太郎、WORD for Windows、WordPerfectがそれぞれバージョンを6にな
り勢揃いする。全体的な動きをみていく

特別企画 Windows 95で、あなたのパソコンライフはこう変わる

新連載 W o z の魔法使い
もう一つの A p p l e II ストーリー

○SUPERASCII 3月号

特集 次世代 W i n d o w s 環境はこうなる
日本語版 W i n d o w s 9 5

- ・見え始めた次世代 W i n d o w s 環境
- ・ファイルタイプ
- ・ネットワーク
- ・インフォセンター
- ・日本語環境
- ・デバイスサポート

Review 1 G b y t e S C S I ディスク主力 7 モデル